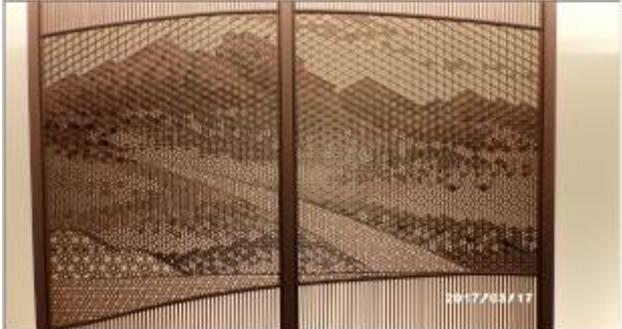


## 関西支部シニア会活動報告

行事名	機械・産業遺産ツアー
回次	第16回 (平成29年度第1回)
開催日	2017年5月23日(火)
場所	竹中大工道具館：神戸市中央区熊内町7-5-1
参加人数	19名(申し込み20名、欠席1名)
行程	竹中大工道具館入り口付近集合(14時00分) 14:00 参加者受付および入館料徴収 14:15-15:45 館スタッフの案内で館内見学 15:45-16:15 担当者による木工室イベントの紹介と経験談等、および質疑 16:15 自由解散、懇親会出席者は竹中大工道具館入り口付近(集合場所)に集合して懇親会場へ(11名申し込み、欠席1名)
感想	平成26年に開館30周年を迎えたことを機に、新神戸駅近くにオープンした施設で、建物がまだ新しくまぶしく感じた。ここは日本で唯一の大工道具の博物館で、日本の木造建築を支えてきた主に手づくりの大工道具を展示、伐る・削る・組むなどの用途に合わせて、古くからの様々な道具を見ることができた。館スタッフの案内は懇切・丁寧で質問にも良く答えてくれていた。写真1は一人の大工さんが所持していた大工道具の標準編成とのことで、用途に合わせて同じ道具でも様々なものがあることに感心した。館内ではアジアやヨーロッパの大工道具も公開。日本との違いを知ることもできた(例えば鋸でも押して切断するか引いて切断するかなど)。また、木工体験教室では大人向けだけでなく、初めて大工道具に触れる子供らを対象にしたイベントも行っており、担当の方の説明は理科工作教室に携わる者にとっても参考になったのではと思われる。
写真1	写真2
	
大工道具の標準編成	唐招提寺金堂組物の実物大模型
写真3	写真4
	
見学風景	館スタッフの説明を熱心に聞く参加者
写真5	写真6
	
組子細工	茶室スケルトン模型をバックに